

2025(令和7)年10月24日

報道関係者 各位

松山大学

シリアの物語――古代のルーツから未来の可能性まで

## 2025年度松山大学経済学部学術講演会 開催

10月31日(金)12時30分より 本学文京キャンパスにて

松山大学経済学部では、地域貢献の一環として、市民の皆様と本学学生および教職員の新たな学びの場 として学術講演会を実施しています。

2024年12月8日、シリアは54年の長きにわたる独裁体制に終止符を打ちました。2011年に中東各地 で起きた民衆革命(いわゆる「アラブの春」)以降の13年間は、政権派による反政権派への苛烈な弾圧とそ れに対する反撃の応酬により、シリア社会はますます疲弊しました。しかしその一方で、メソポタミア文明の 揺籃地であるシリアは長い歴史と豊かな文化を持つ国です。本講演ではシリア人の目を通して見たシリア の歴史や文化、宗教、社会、近年の変化等、欧米や日本の主要マスメディアによる一方的な報道からは見え ないその姿に焦点を当てます。講演言語は英語ですが、日本語の通訳がつきます。

「シリアでは戦闘状態が長く続いていた」「シリアでは政権が交代した」等、表層的なことは知っていても、 シリアの人々が実際にどのような経験をし、今、どんな思いでいるのか、日本で知る機会はあまりありませ ん。大変貴重な機会ですので、ぜひご取材ください。

## 開催概要

日 時: 2025年10月31日(金)12時30分~14時00分

場 所:松山大学文京キャンパス2号館1階214教室

講演者: モナ・ハッサン博士 元 岡山理科大学非常勤講師

言語:英語、日本語(通訳有)

対 象: 学生、教職員、一般の方(車椅子・介助犬歓迎、音声文字変換アプ

リ UDトーク貸出有。その他配慮が必要な方は事前にご連絡下

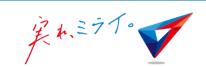
さい)

主 催:松山大学経済学部



ウマイヤ・モスク(AD 8)

首都ダマスカス旧市街に位置する世界で最も古いモスクの1つ(Photo by T Foz via Unsplash)





## <学内地図>

